

地域猫の取組と促進に ついて

人と動物の共生する社会の実現を
目指して

野良猫の位置づけとは？

犬

- 飼い犬 : 民法上の所有物
- 野犬・放し飼い犬 : 狂犬病予防法及び宮崎県犬取締条例に基づき保護・捕獲
- 負傷犬 : 動物愛護管理法に基づき保護

猫

- 飼い猫 : 民法上の所有物
- 野良猫・放し飼い猫 : 法的規定はなく、保護できない
- 負傷猫（放置猫） : 動物愛護管理法に基づき保護
→子猫については、病気を持っていたり、自活することが出来ないことから、負傷猫又は放置猫として、動愛法に基づき保護されることが多い。



保健所で保護又は引き取った猫のほとんどが
野良猫の子であると想定される。

猫の繁殖力は脅威

1頭のメス猫が...



1年後には**20頭以上**



2年後には**80頭以上**



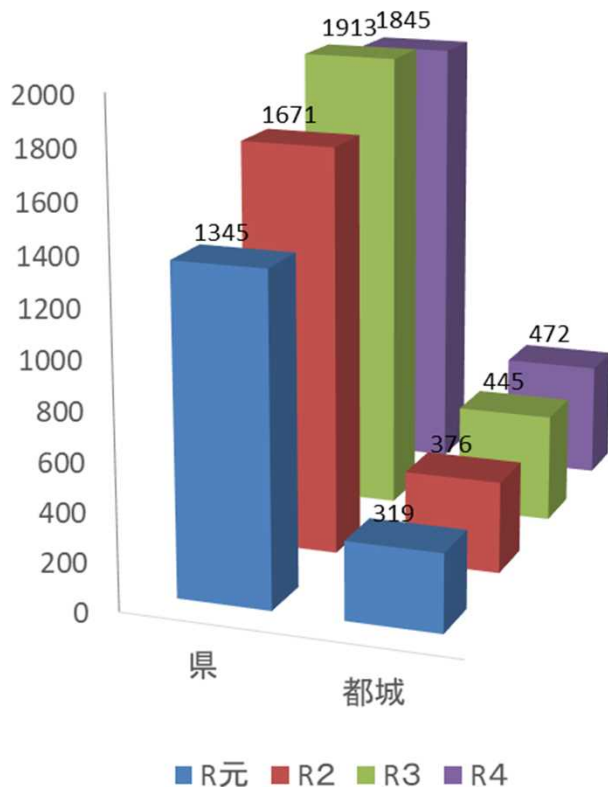
3年後には**2000頭以上**



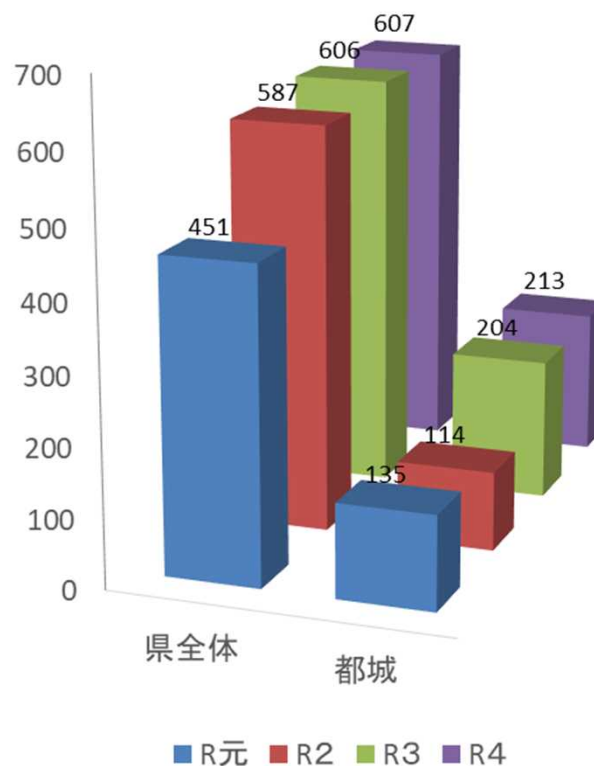
- ★メス猫は生後4～12ヶ月で子猫を産めるようになり、年に2～4回出産し、1回に4～8頭の子猫を産みます
- ★犬も増える速度は違いますが同様です。メス犬は生後6～9ヶ月で子犬を産めるようになり、年に約2回出産し、1回に5～10頭の子犬を産みます

猫の苦情届出数及び引取数の推移

苦情届出数



引取頭数

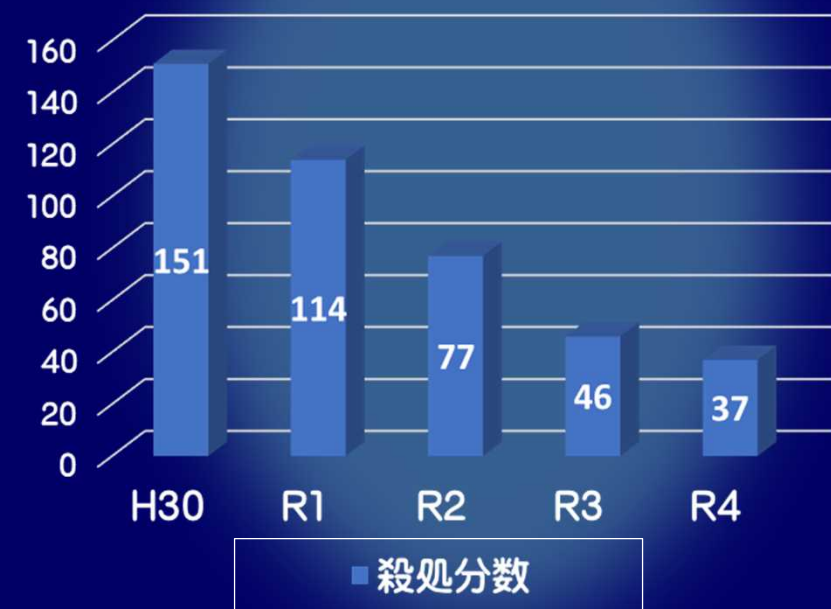


県の殺処分分数の内訳

犬

猫

頭数



頭数



第3次宮崎県動物愛護管理推進計画

令和3年4月施行

動物愛護管理推進目標

①犬および猫の殺処分数の目標値

令和12年度までに平成30年度比60%減
平成30年度：416頭→令和12年度166頭

殺処分数を
減らすため

②犬及び猫の返還・譲渡率の目標値

令和12年度までに返還・譲渡率を犬90%以上、猫70%以上

③動物愛護推進員・ボランティア数の目標値

令和元年度59人→令和12年度177人

④いのちの教育履修児童数の目標値

令和元年度3088人→令和12年度までの累計で25000人

動物愛護推進に係る施策の考え方

保護・引取減少の取組

- ・いのちの教育
- ・**地域猫対策**
- ・引取希望者への支援
(みやぎきもぐ愛ランド)

譲渡増加の取組

- ・機能的な譲渡体制
- ・動物愛護団体との連携
- ・譲渡会の開催

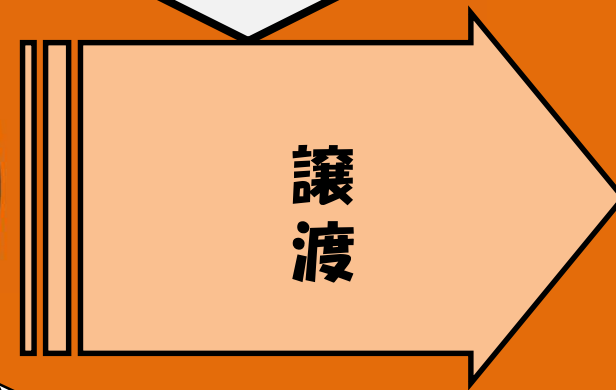
保護・引取

ほほ/ラ子猫!

ラ子猫を減らすにTNR!

- ・ミルクボランティアの協力

死亡減少の取組



死亡

(殺処分数に計上)

殺処分の減少

TNRとは



- **T**rap (トラップ): 捕獲すること
- **N**euter (ニューター): 不妊手術を行うこと
手術済みの目印として、耳先をV字にカットする(さくらねともいう)
- **R**eturn (リターン): 猫を元の場所に戻すこと

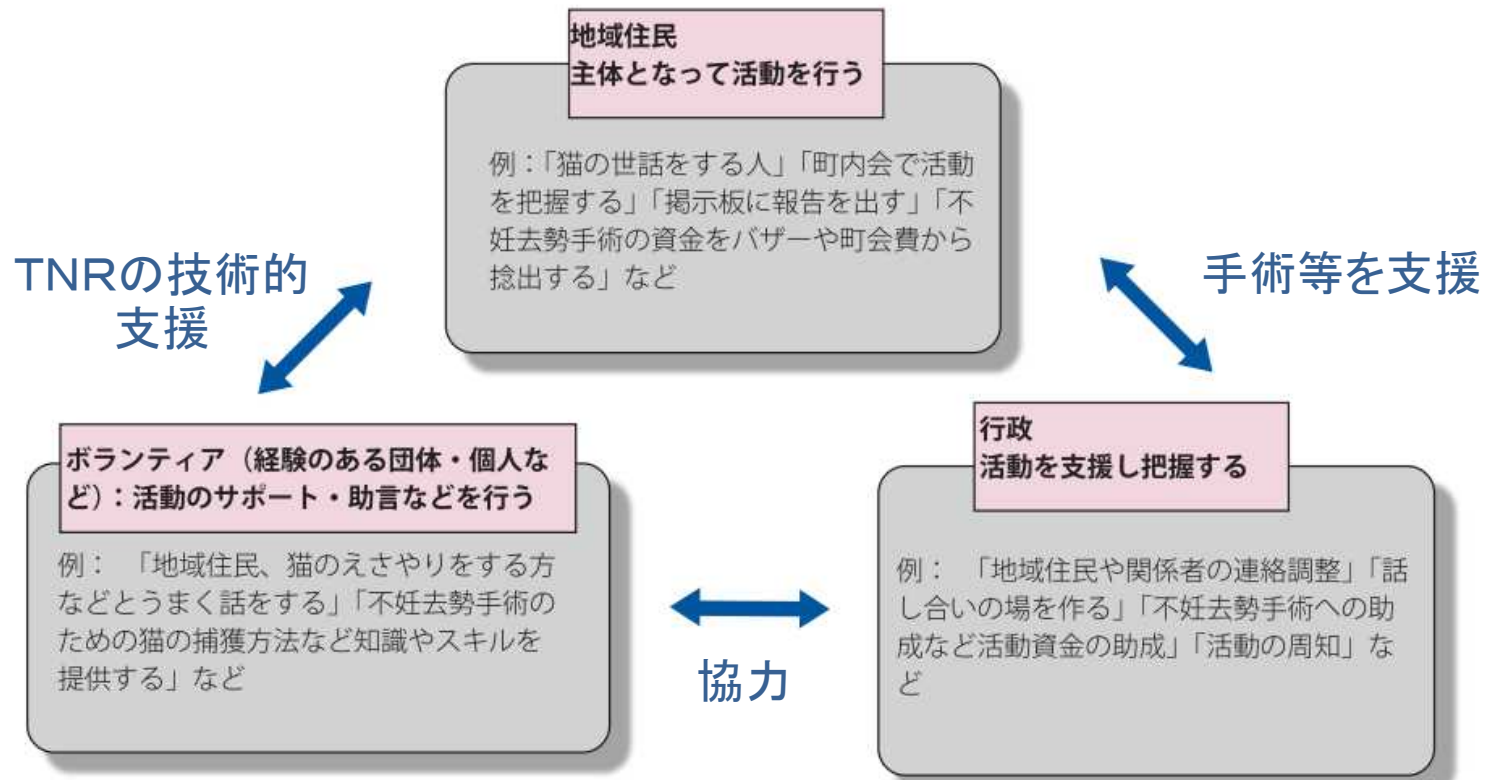
TNRを推進するために

地域猫対策

地域猫とは・・・

「地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている、特定の飼い主のいない猫」

地域猫活動は、
地域住民 + ボランティア（経験のある団体・個人など） + 行政 が
「地域の問題を地域で解決するため」に協働して行うことが大切です。



愛護センターでの手術の流れ

前日

地域猫の受入れ

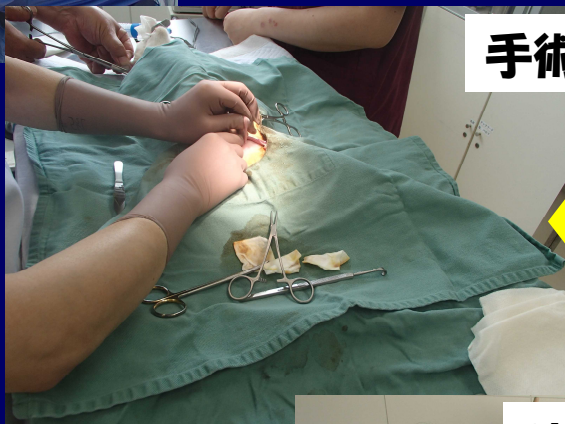


捕獲・運搬は住民の方

本当に
ありがとうございます。
頭が下がります。

当日

手術



手術:3人体制

麻酔者:獣医

術者:獣医

補助者:動物看護師

かえるよ～
がんばったね～

お迎えも住民の方 翌日

地域猫のお迎え



宮崎県の地域猫 指定区域数

地区数

年々増加!



H30

R1

R2

R3

R4

■ 都城

■ 県全体

地域猫対策

地域猫手術実績頭数

年度	頭数	
	都城	県全体
H30	1	27
R元	52	260
R2	224	809
R3	162	1,011
R4	542	1,626



殺処分3分類

分類① 譲渡することが適切ではない

- ・ 治癒の見込みがない病気や攻撃性がある等
- ・ 負傷や病気等による苦痛が著しく、治療の継続が動物愛護精神に反する
- ・ 動物衛生・公衆衛生上問題となる感染症に罹患 など

分類② 分類①以外の殺処分

- ・ 適切な譲渡先が見つからない
- ・ 施設の収容可能頭数等の物理的制限により飼養が困難 など

分類③ 引取り後の死亡

- ・ 病気または老衰により死亡した動物
- ・ 幼齢のため死亡した動物、事故により死亡した動物 など

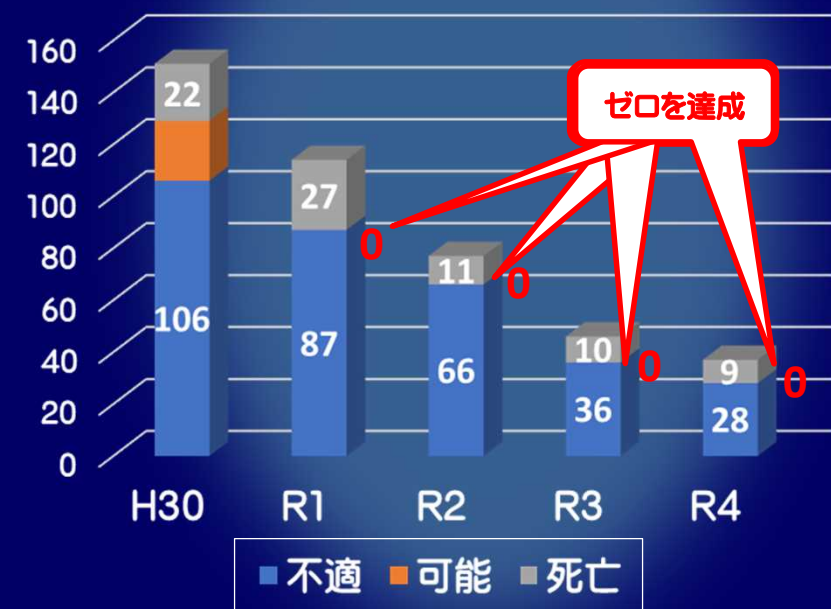
県の殺処分数の内訳

犬

猫

頭数

頭数



死亡(殺処分数)減少の取組

SNSやチラシの配布などで
ミルクボランティアを広く募集し
離乳前の子猫の自然死
(殺処分数に入る)の削減に
取り組んでいます。



急募!!ミルクボランティア!!



愛護センターには現在約100匹の
乳飲み子が保護されています。
授乳期の子猫を離乳するまでご家庭で
育てていただく「ミルクボランティア」
を**大大募集**しています。



おなか
ちがいた

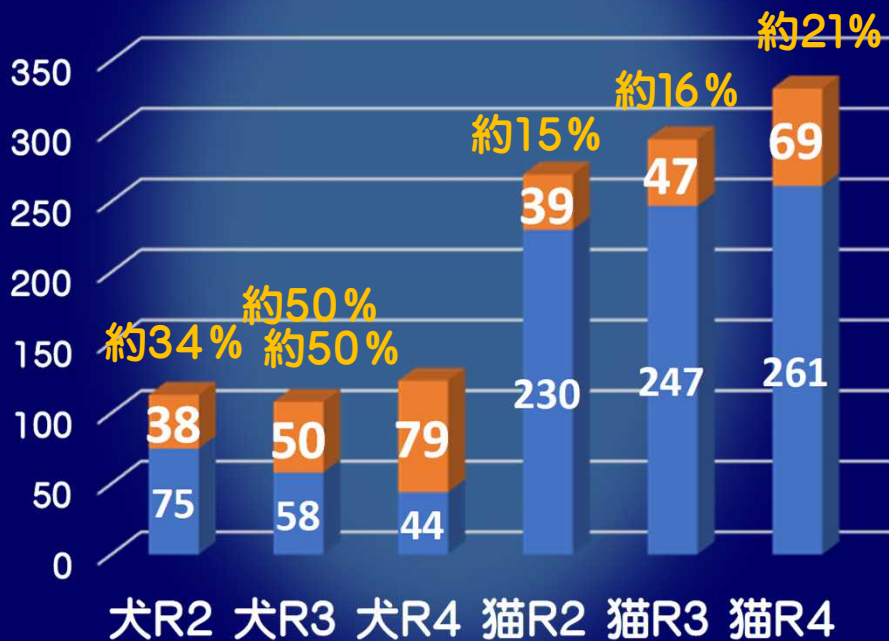
興味のある方は
宮崎県動物愛護センター
まで・・・
TEL:0985-84-2600

年度	人数	依頼頭数	譲渡頭数
H29	9	5	5
H30	1	21	18
R1	3	7	2
R2	11	70	61
R3	22	97	85
R4	38	232	205

動物愛護団体 との連携

令和2～4年度センター搬入犬猫の譲渡先
(宮崎県分のみ)

頭数



■ 一般譲渡 ■ 団体譲渡

譲渡会

令和4年度日曜日譲渡会実績

来場者数: 6,356人

譲渡頭数: 515頭 (一般参加者分等含む)

犬: 38頭 猫: 477頭



いのちの教育（実施結果）

年度	いのちの教育		講和等	家庭教育学級	
	学校数	人数			
H29	29	①:16 ②:13	1,349	-	-
H30	36	①:21 ②:15	1,709	2校 132名	7校 120名
R1	45	①:25 ②:20	2,082	10団体252名	2校 25名
R2	44	①:27 ②:15 ③:2	2,423	3校 425名	-
R3	44	①:24 ②:18 ③:2	2,364	8団体 200名	3校 31名
R4	50	①:22 ②:25 ③:3	2,449	8団体 111名	1校 16名

※①:指定校(視察あり)、②:協力校(出前授業・視察なし)、③教材貸出校

授業風景

赤木 憲昭先生 (広瀬北小学校)
外山 健一郎先生 (茶臼原小学校)
安藤 利光先生 (大塚小学校)



いのちの教育 (小学生の主な感想)

動物も人と同じ命

人も動物も一生に一度の命。
捨てるはいけない。守りたい。

動物が人に命をあげている。
残さず食べたい。

命がどうできたか考えて、今
生きていることに感謝したい。

ペットも家族で、心がある。
環境が悪いと動物も人間も気持ちが悪くなる。

人と動物の共存には適切な環境を守らなければならない。

